

栃木県歴史文化研究会会報

特集 二〇二六年の干支 午

# 歴文だより

## 軍馬補充部白河支部と栃木県

作問 亮哉

明治三十八年、日露戦争が終結し、栃木県には福岡県小倉から第十四師団が駐屯することとなった。宇都宮は軍事施設が整備され、軍都としての性格を整えていったが、それ以前に栃木県には、陸軍の一大軍事施設である、軍馬養成機関が存在していたことはあまり知られていない。ここでは、福島県西白河郡西郷村に本部が設置された軍馬補充部白河支部の付属施設である、那須派出所及び泉出張所について戦後の状況も含め紹介する。

軍馬補充部は、明治二十九年に陸軍省の外局の一つとして改組・設置された、軍馬の供給・育成・購買を掌る機関である。本部は東京、支部が国内・朝鮮に設置されており、アジア・太平洋戦争の終結後の陸軍省解体に伴い、軍馬補充部も解体・廃止されている。

ここで、沿革を確認していきたい。軍馬補充部白河支部（以降白河支部）は、明治三十年十二月二十八日、福島県西白河郡西郷村大字小田倉字上野原に設置され、軍馬の養成を実施することとなった。なお、昭和十年に建設された白河支部事務所が、現在西郷村歴史民俗資料館として活用され、村指定文化財となっている。明治三十一年九月十四日、陸軍省から出

された陸達第七五号により、那須郡那須村大字寺子字小島小字田畑（現那須町大字寺子丙・那須高原S.A西方）に白河支部那須派出所が設置され、そこから約2km北方（那須町大字豊原・千振地区）に高津分厩が置かれた。明治三十四年には、設置が計画されていた夕狩分厩（那須町大字豊原乙か）が計画段階で廃止となり、予算が一ノ又分厩（現福島県太陽の国クリニツク付近）建設費に当てられている。明治三十六年六月十八日、陸達第六五号により塩谷郡泉村大字長井字片倉（現矢板市）に白河支部泉出張所が設置され、栃木県内における白河支部の施設が一通り整備された。泉出張所には、東山牧場（現矢板市伊佐野）・西山牧場（現矢板市塩谷町）が置かれたが、東山牧場は伝染性貧血症の蔓延により明治四十五年に廃止、西山牧場も一部県有林化による払下げがなされ縮小している。なお東山牧場跡地は後に地元住民に払い下げられ、大正四年より八方牧場として再スタートしている。また大正十四年十二月十日には、いわゆる宇垣軍縮により、軍馬補充部六原支部などと共に那須派出所が廃止されている。その後、昭和六年に発生した満洲事変に伴う軍馬の需要増大に伴い、那須派出所高津分厩跡地に高津牧場が再興、昭和十年までには那須牧場が設置されるなど、当時の社会状況により白河支部の施設は変遷があった。

次に白河支部の那須・泉の施設の概要等について触れる。那須派出所は、二〇〇〇haの広さを誇っていたとされ、旧マウントジーンズスキー場付近までが敷地であったという。敷地境界には、基底約二・七m、高さ約一・八mの土塁が巡らされ、菅野石の境界石が埋められていた。また、これらの土塁や木柵・木戸については明治三十四〜三十五年頃に建設されたと考えられ、引水路も同三十七年頃に設置されたようである。泉出張所においても、明治三十六年に土塁・木柵の入札工事がなされていることから同年頃に土塁・木柵が設置されたと考えられる。これらの土塁が設置されたことにより、白河支部では出張所や牧場ごとに三〇〇ha以内の放牧区が設定され、泉出張所の放牧区では、弓張、片倉、繁昌平、板原、黒沢、三角、上ノ原、土上原の区画が、高津牧場では、夕狩、二枚橋、綱子、南高津、北高津、田畑、庄三郎、石転橋、猿沢、大島、旭大沢、北沢の各区画が置かれ、軍馬の放牧がおこなわれた。現在も一部地域には、土塁が遺されている。

昭和十一年に発行された『支部概要』によると、白河支部には支部長や軍医など職員は三二名、傭人の中でも馬の世話をする牧手が八四名、馬のエサであるトウモロコシなどを栽培する耕手が六一名、蹄鉄工六名などが働いていたとされる。またこのとき白河支部全体では、一二六七頭の保管馬などがおり、秋に二歳馬を購入し五歳馬になるまで育成した。



戦後、軍馬補充部は軍馬育成の役割を終えたが、その土地は新たに戦後の食糧増産基地として、戦後開拓の舞台へと変化を遂げた。高津牧場跡地には、満洲から引き揚げてきた千振開拓団が入植。那須野飛行場で終戦を迎えた旧銚田教導飛行師団の将校らは那須村・中原地区の放牧場跡地に入植し、本隊を中原、分隊を青木、新堀（現那須塩原市）に置き、開拓を行った。また、旧白河支部職員らも田島・豊津地区で開拓を行い、鋤を振った。他にも柏台開拓、大谷開拓も白河支部の牧場跡地に入植した。

泉出張所の跡地については昭和20年の終戦前に高原野戦病院の建設があったが、終戦となり計画中止となった。この病院建設のため派遣されていた医務員・看護兵の希望者に対し開拓許可が下りたため、高原開拓が開始され、入植した人々のために長井小学校新高原分校も設置されている（現在は廃校）。

軍馬補充部白河支部は福島県だけでなく、栃木県の近代史・軍史史を考える上で重要な軍事施設である。今後、その実態が明らかになることを期待したい。

【写真は、軍馬補充部白河支部那須派出所跡地附近に遺されている石碑】